



# すてき発見みうら ～マグロのひみつ～

加藤和浩

“マグロのまち三崎”に住んでいる三崎っ子ですが、意外とマグロについて知らない実態…。小学校の段階で、マグロについてしっかりと学ぶ機会を作ることで、地域への愛着、誇りなどを高めることができるのでは…と考え、「すてき発見みうら～マグロのひみつ～」という単元を組みました。総合的学習の時間を中心に、社会、国語、社会見学、学習発表会なども関連させた大単元として半年に渡り取り組んだ活動です。その様子を簡単に紹介します。

## 9月

**魚市場見学**…社会見学で三崎の魚市場に行くところからマグロの学習がスタート。身近にある魚市場ですが、訪れたことのない子がほとんどです。たくさんのマグロを目の前に、ボランティアガイドさんから魚市場の仕事や役割などについてお話をし、みんな熱心にメモを取っていました。



**湘南丸見学**…海洋科学高校のご厚意により、停泊中のマグロ実習船を見学させていただきました。これまで、なかなか実感が持てなかった漁の様子について生徒のみなさんや先生から、本物の道具や生活の場を見せてもらいながら説明をして頂き、たくさんの実感を持ち帰ることができました。(海洋教育研究所の企画)

## 10月

**大谷商店見学**…城ヶ島にあるマグロ卸に行きました。冷凍マグロを電動のこぎりで解体する様子にビックリしたり、-60度の冷凍庫体験で歓声を上げたりしながら見学しました。



## 11月～12月

**情報の整理**…見学した内容を、グループで分担して、写真とカードにまとめて掲示し、情報を整理して共有しました。



## 1月

**大畑鮮魚見学**…学校の近くの魚屋さんを見学しました。鮮度を大切に、テキパキと働く姿に目を見張っていました。



## 2月

**学習発表会**…一番伝えたいことを個人で考え、それをまとめてグループテーマを設定しました。実感やマグロに関わる人の思いが伝わる発表を目指して準備を進めます。ポスターセッションの形で、寸劇や模型などたくさんの工夫を織り込んだ発表を、保護者と低学年に向けて行いました。発表を通して、マグロや三浦に対する思いが、みんな深まった様子でした。

漁「おいしいマグロをつかまえ



魚市場「味わってほしくマグロ」



卸「お客さんに笑顔」



店「おうちの理由」

